

## Ⅱ 調査結果の分析

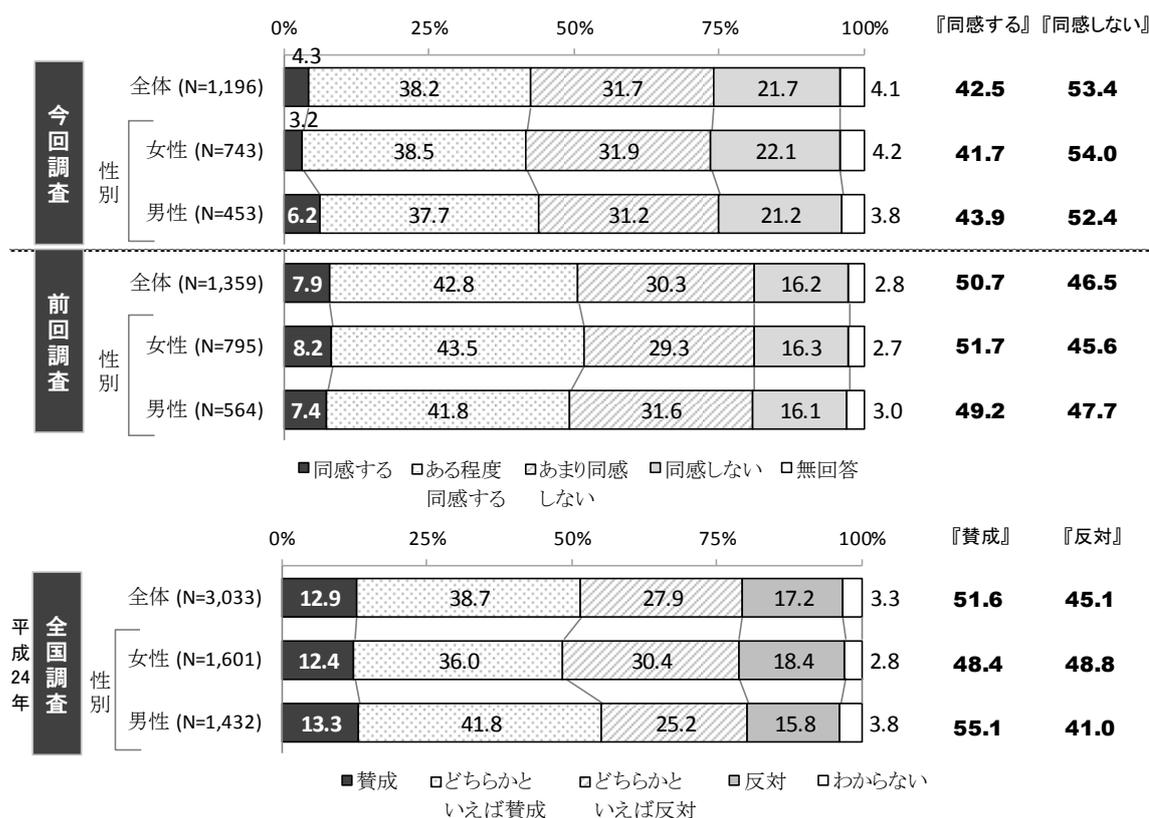


# 第1章 男女平等に関する考え方について

## 1. 性別役割分担意識

問1. 「男は仕事、女は家庭」という考えをどのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 性別役割分担意識(全体、性別)[前回調査・全国調査比較]



「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識についてたずねた。

全体では、「同意する」(4.3%)と「ある程度同意する」(38.2%)をあわせた『同意する』が42.5%、「あまり同意しない」(31.7%)と「同意しない」(21.7%)をあわせた『同意しない』が53.4%となり、『同意しない』が10.9ポイント上回っている。

性別にみると、『同意しない』は女性が54.0%、男性が52.4%といずれも5割を超えている。一方、『同意する』は女性が41.7%、男性が43.9%となっており、男性の方が性別役割分担について肯定する人がやや多い。

平成21年に実施した「久留米市男女平等に関する市民意識調査」(以下、前回調査という)と比較すると、全体で『同意しない』が前回調査に比べ6.9ポイント増えており、性別でみると女性は8.4ポイント、男性は4.7ポイントといずれも増えている。前回調査では女性の方が性別役割分担について肯定する人がやや多かったが、今回調査では男女とも肯定しない割合が高くなっており、特に女性での上がり方が大きくなっている。

また、平成24年に実施された内閣府の「男女共同参画社会に関する世論調査」(以下、全国調査という)と比較すると、設問文や項目の表現が多少異なっているため厳密な比較はできないが、全

国調査の『賛成』は51.6%と今回調査を9.1ポイント上回り、『反対』は45.1%と今回調査を8.3ポイント下回っている。性別にみると、女性の『同感する』は全国調査では48.4%で今回調査は41.7%と6.7ポイント低く、『同感しない』は全国調査では48.8%で今回調査は54.0%と5.2ポイント高いなど全国に比べ、久留米市の方が性別役割分担を肯定しない女性が多くなっている。一方、男性の『同感する』は全国調査55.1%、今回調査43.9%で、『同感しない』は全国調査41.0%、今回調査52.4%と『同感する』は11.2ポイント低いが、『同感しない』は11.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、男性は年齢が低い層で『同感しない』割合が高く、特に20歳代では64.6%と最も高い。女性では50歳代で『同感しない』が63.1%と最も高い。女性の20歳代で「同感しない」が30.3%と他の年代と比べて高いなど20歳代で肯定しない割合が高くなっている。一方、男女とも70歳以上では『同感しない』が3割台、『同感する』が5割台と性別役割分担を肯定する割合が高くなっている。

表 性別役割分担意識[全体、年齢別]

(%)

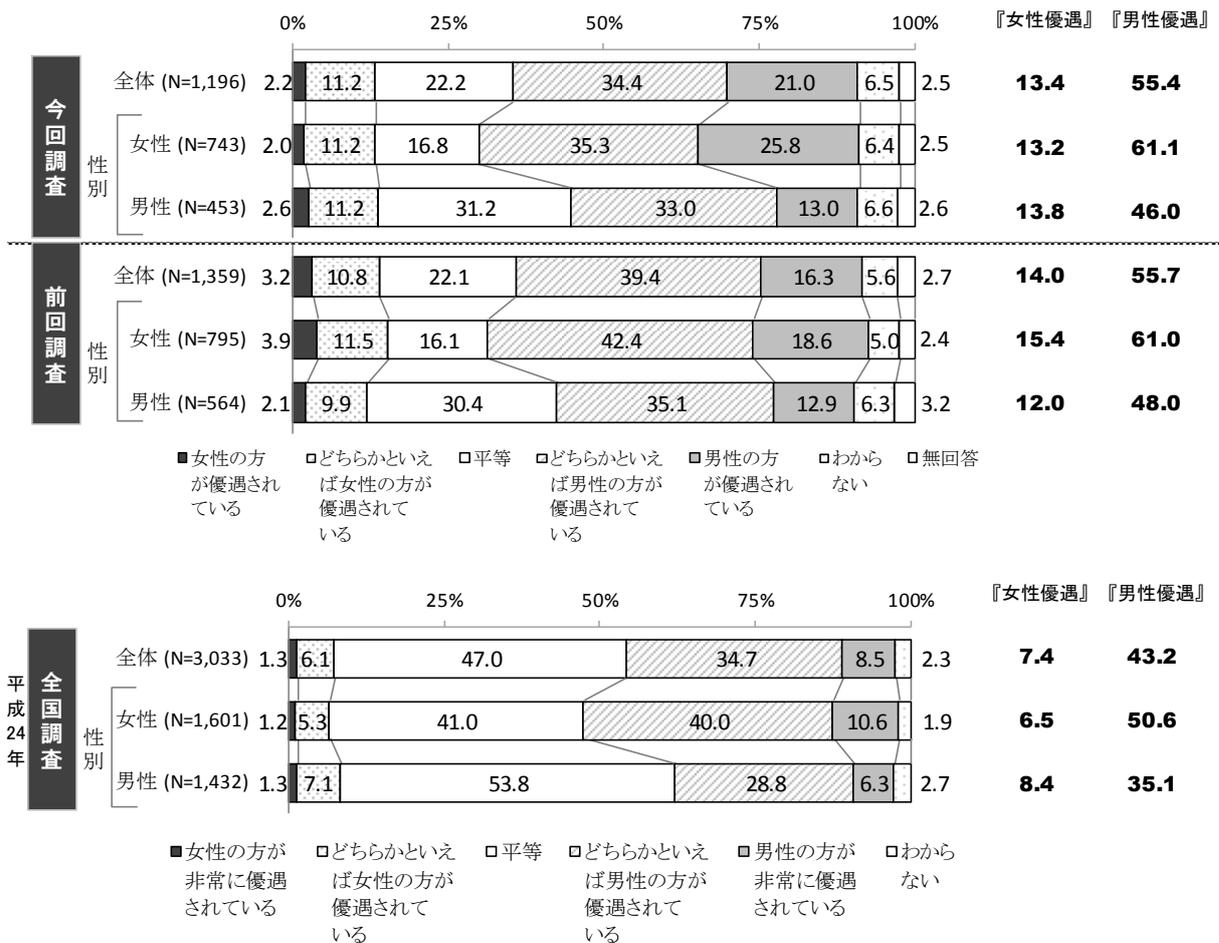
		合計	同感する	同感する程度	あまり同感しない	同感しない	無回答	『同感する』	『同感しない』
全体		1,196	52	457	379	260	49	509	639
		100.0	4.3	38.2	31.7	21.7	4.1	42.5	53.4
年齢別	女性:20歳代	61	6.4	34.9	28.4	30.3	-	41.3	58.7
	女性:30歳代	99	2.0	42.0	32.1	21.9	1.9	44.0	54.0
	女性:40歳代	140	0.3	39.0	37.6	21.0	2.1	39.3	58.6
	女性:50歳代	133	1.4	34.4	41.0	22.1	1.1	35.8	63.1
	女性:60歳代	184	3.4	35.4	31.4	23.3	6.5	38.8	54.7
	女性:70歳以上	124	7.0	46.1	19.0	17.5	10.5	53.1	36.5
	男性:20歳代	30	9.7	20.9	45.2	19.4	4.8	30.6	64.6
	男性:30歳代	54	6.2	32.2	35.7	20.5	5.4	38.4	56.2
	男性:40歳代	77	3.7	35.4	36.7	21.2	3.1	39.1	57.9
	男性:50歳代	93	3.6	39.1	40.3	16.0	1.0	42.7	56.3
	男性:60歳代	125	8.5	35.5	24.3	26.5	5.4	44.0	50.8
	男性:70歳以上	71	6.8	53.0	15.6	20.4	4.1	59.8	36.0
無回答		5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0

## 2. 分野別にみた男女の地位の平等感

問2. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア) から (ク) のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

### (ア) 家庭生活

図「家庭生活」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「家庭生活」では、「平等」は22.2%で、「男性の方が優遇されている」(21.0%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(34.4%)を合計した『男性優遇』は55.4%と半数を超えている。一方、「女性の方が優遇されている」(2.2%)と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(11.2%)を合計した『女性優遇』は13.4%と低い。

性別にみると、『女性優遇』は女性が13.2%、男性は13.8%と同程度となっているが、「平等」は女性が16.8%に対し、男性は31.2%と男性の方が女性の2倍近くになっている。また、『男性優遇』は女性が61.1%、男性が46.0%と15.1ポイントの差があるなど、家庭生活において女性は不平等感が強く、男性は女性を感じているほど自身が優遇されているとは感じてはいないなど平等感には男性と女性で大きな開きがある。

前回調査と比較すると全体でみても、性別でみてもあまり大きな変化はみられない。

全国調査と比較すると、「平等」は全国調査では47.0%で今回調査の方が24.8ポイント下回っており、一方、『男性優遇』は12.2ポイント今回調査の方が上回っている。性別でも男女とも今回調査の方が「平等」は20ポイント以上低く、『男性優遇』は約10ポイント高いなど、全国調査に比べて不平等であると感じている人が男女を問わず多いことがわかる。

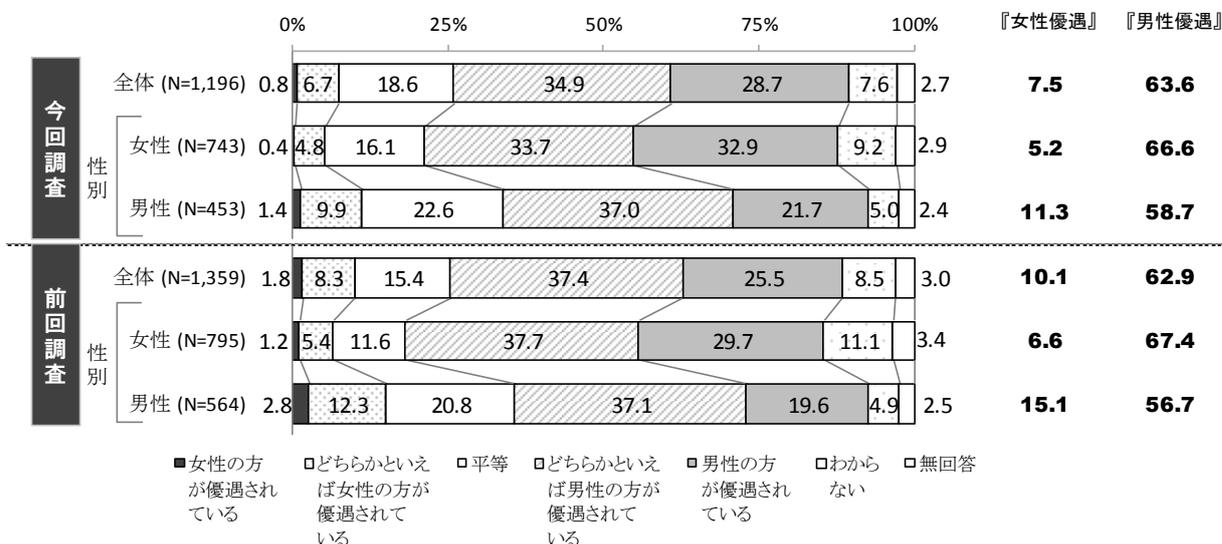
年齢別にみると、女性の40歳代、50歳代、60歳代で『男性優遇』が6割を超えて高くなっており、介護の担い手になる年代で女性の不平等感が強い。一方、男性は30歳代、40歳代、50歳代で「平等」が3割台と他の年代に比べて高いことから子育て期の年代の男性は家庭生活では平等と感じている人が多い。

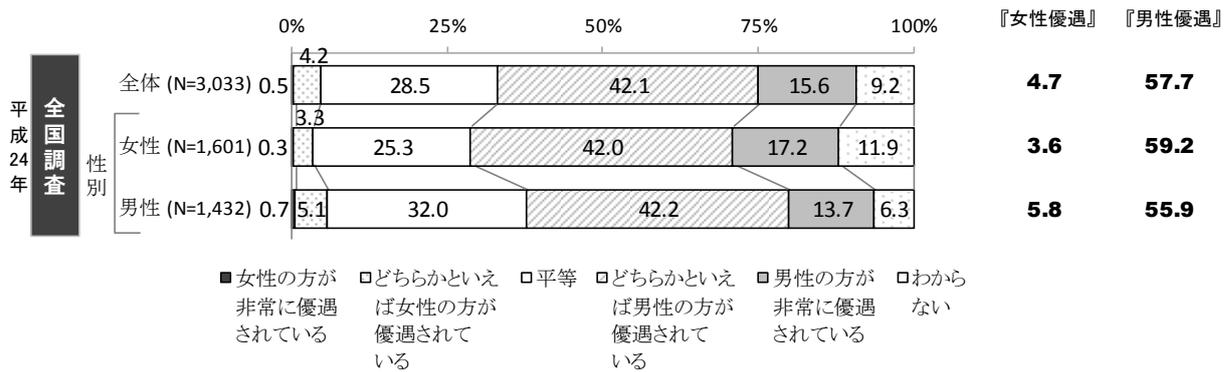
表「家庭生活」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇	どちらかといえど女性の方が優え	平等	どちらかといえど男性の方が優え	男性の方が優遇	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196 100.0	27 2.2	134 11.2	266 22.2	411 34.4	251 21.0	78 6.5	30 2.5	161 13.4	662 55.4
年齢別	女性:20歳代	61	2.4	18.3	19.8	31.8	18.3	7.1	2.4	20.7	50.1
	女性:30歳代	99	3.4	13.2	21.5	32.6	15.6	12.2	1.5	16.6	48.2
	女性:40歳代	140	-	12.1	17.9	35.6	26.1	6.2	2.1	12.1	61.7
	女性:50歳代	133	5.4	6.5	16.3	36.9	28.4	4.7	1.8	11.9	65.3
	女性:60歳代	184	0.8	9.4	11.0	38.8	30.9	6.0	3.1	10.2	69.7
	女性:70歳以上	124	1.2	13.1	19.8	31.8	26.0	4.3	3.9	14.3	57.8
	男性:20歳代	30	-	21.0	27.3	24.2	19.4	8.0	-	21.0	43.6
	男性:30歳代	54	2.7	7.2	37.5	38.4	0.9	8.0	5.4	9.9	39.3
	男性:40歳代	77	3.1	13.1	32.9	32.3	9.3	8.7	0.6	16.2	41.6
	男性:50歳代	93	3.6	15.0	34.5	25.2	14.4	6.2	1.0	18.6	39.6
	男性:60歳代	125	1.5	8.8	28.5	35.4	16.2	4.2	5.4	10.3	51.6
男性:70歳以上	71	2.0	7.5	27.2	40.2	16.3	6.1	0.7	9.5	56.5	
無回答		5	20.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	60.0

(イ) 職場

図「職場」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)





「職場」では、「平等」は18.6%で、『男性優遇』は63.6%と高く、職場の不平等感は強い。性別にみると、「平等」は女性で16.1%、男性で22.6%となり男性の方が6.5ポイント高く、また『女性優遇』は女性では5.2%、男性では11.3%と、男性の方が6.1ポイント高い。反対に『男性優遇』は女性66.6%、男性58.7%で、女性の方が7.9ポイント高く、職場の不平等感は男性と女性で開きがある。

前回調査と比較すると、男女とも「平等」の割合がやや前回調査に比べて約2～4ポイント高くなっているが、『男性優遇』の割合は女性ではあまり変化はなく、男性では2ポイント高いなど職場における平等感に大きな変化はみられない。

全国調査と比較すると、「平等」は全国調査では28.5%、今回調査が18.6%で9.9ポイント下回っている。性別でも、男性、女性のいずれも「平等」の割合は今回調査の方が下回っている。

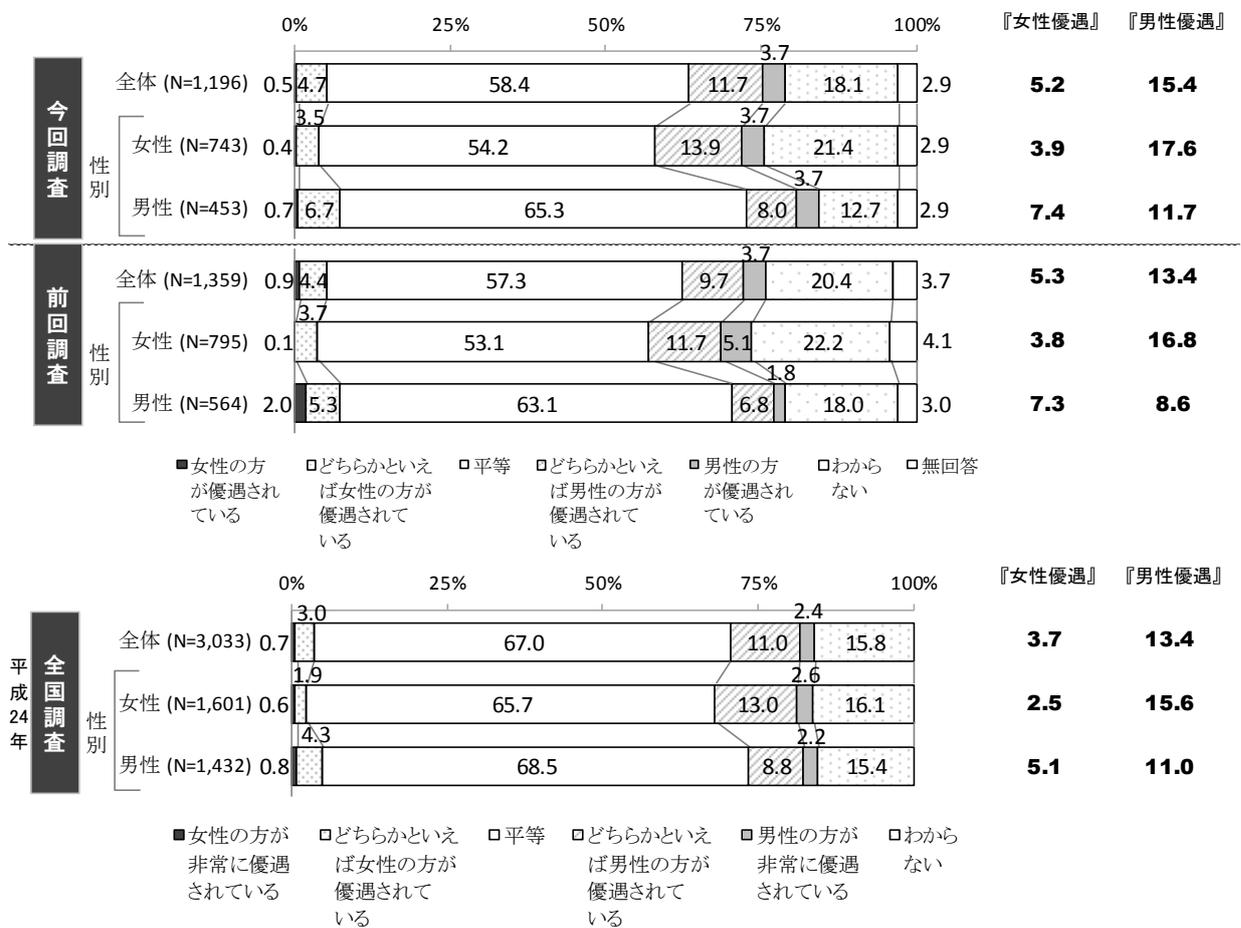
年齢別にみると、「職場」での「平等」は女性の20歳代と30歳代、男性の20歳代と年齢の低い層で高く、職歴の短い年齢層では不平等を感じる機会が少ないともいえる。『男性優遇』は女性の40歳代、50歳代、60歳代で7割を超えて高くなっており、女性の非正規雇用の割合の高い年代では家庭生活と同様に女性の不平等感は強い。

表 「職場」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇	どちらかといえば女性の方が優遇	平等	どちらかといえば男性の方が優遇	男性の方が優遇	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196 100.0	9 0.8	80 6.7	222 18.6	418 34.9	343 28.7	91 7.6	33 2.7	89 7.5	761 63.6
年齢別	女性:20歳代	61	-	8.8	20.6	26.1	31.1	11.1	2.4	8.8	57.2
	女性:30歳代	99	-	4.9	23.5	38.0	23.9	8.3	1.5	4.9	61.9
	女性:40歳代	140	-	6.5	13.4	32.1	43.1	3.8	1.0	6.5	75.2
	女性:50歳代	133	2.2	3.6	17.4	36.2	34.8	4.7	1.1	5.8	71.0
	女性:60歳代	184	-	2.9	10.5	38.5	31.7	12.6	3.9	2.9	70.2
	女性:70歳以上	124	-	5.1	17.9	26.7	28.3	15.1	7.0	5.1	55.0
	男性:20歳代	30	-	11.2	34.0	33.8	14.5	6.4	-	11.2	48.3
	男性:30歳代	54	3.6	16.0	18.8	30.2	21.5	4.5	5.4	19.6	51.7
	男性:40歳代	77	1.9	21.1	17.4	36.0	18.7	4.4	0.6	23.0	54.7
	男性:50歳代	93	2.6	10.8	26.7	40.8	16.5	1.5	1.0	13.4	57.3
	男性:60歳代	125	-	2.3	22.7	35.4	30.0	6.9	2.7	2.3	65.4
男性:70歳以上	71	0.7	4.8	19.8	43.5	19.7	6.8	4.8	5.5	63.2	
無回答		5	-	-	40.0	-	60.0	-	-	-	60.0

## (ウ) 学校教育の場

図 「学校教育の場」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「学校教育の場」においては、他の分野と比べて「平等」が58.4%と最も高く、唯一5割を超えている。一方、「わからない」も18.1%と他の分野と比べて最も高くなっている。学校教育の場は「平等」であると多くの方は認識しているが、一方で実態が把握しにくいという状況がうかがえる。

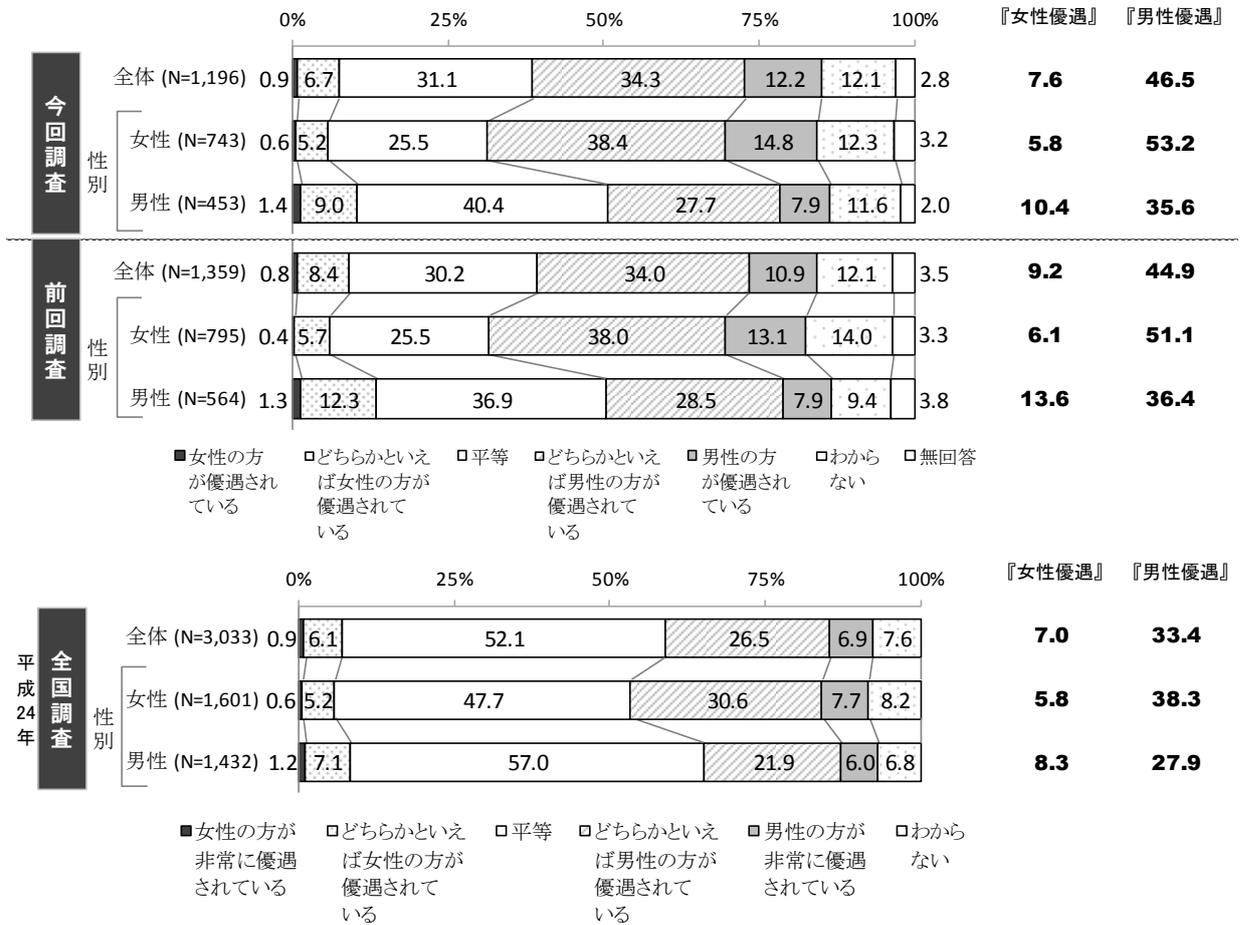
性別にみると、「平等」は女性が54.2%で、男性の65.3%を11.1ポイント下回り、また『男性優遇』は女性17.6%、男性11.7%で、女性の方が5.9ポイント上回るなど、学校教育の分野においても、男女差がみられる。

前回調査と比較すると、「平等」『男性優遇』『女性優遇』とも大きな変化はみられないが、男性の『男性優遇』がやや高くなっている。

全国調査と比較すると、男女とも「平等」は今回調査の方が下回り、特に女性では11.5ポイントの差がある。他と比べ平等感が高い分野とはいえ全国との比較では低くなっている。

## (工) 地域活動・社会活動の場

図 「地域活動・社会活動の場」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「地域活動・社会活動の場」において、「平等」は31.1%であるのに対し、『男性優遇』が46.5%とほぼ半数を占めている。

性別にみると、「平等」は女性25.5%、男性40.4%となっており男性の方が14.9ポイント上回り、『女性優遇』も女性5.8%、男性10.4%と、男性が4.6ポイント上回っている。一方、『男性優遇』は女性53.2%、男性35.6%と、女性の方が17.6ポイント上回り、男性の方が「平等」もしくは『女性優遇』と感じているが、女性は『男性優遇』と感じており、ここでも男女の認識の差が大きいことがわかる。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

全国調査と比較すると、全国調査では「学校教育の場」に次いで平等感の高い分野であり、「平等」は52.1%と半数を超えるが、今回調査ではこれより21ポイント低く、女性で22.2ポイント、男性で16.6ポイント下回っており、久留米市では地域活動・社会活動の分野の平等感は依然として低く、特に女性で低くなっている。

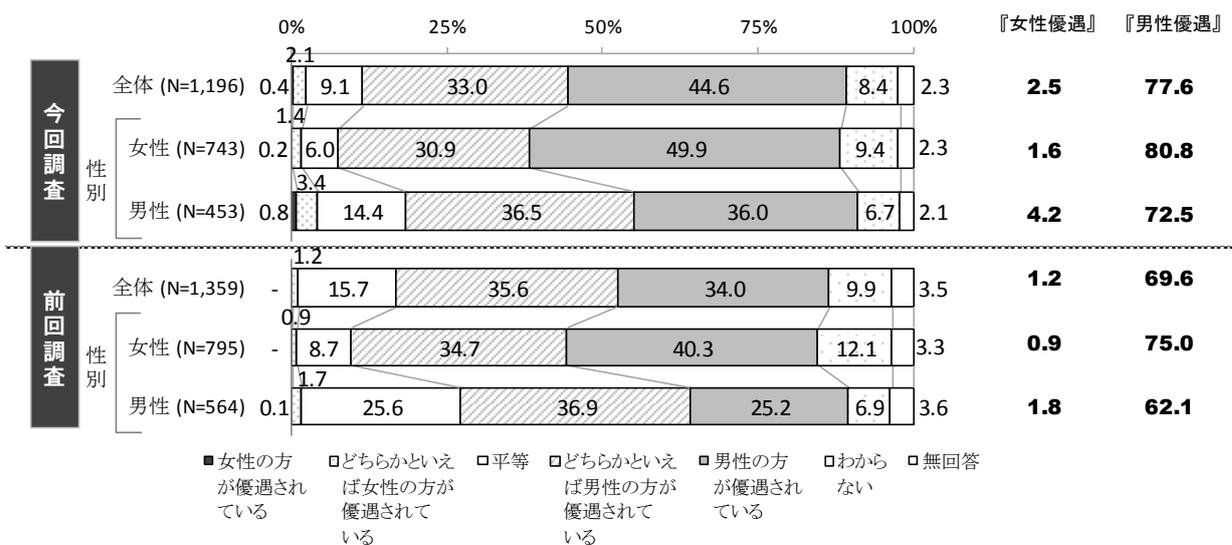
年齢別にみると、「地域活動・社会活動の場」では、女性の20歳代と30歳代で「わからない」が2割台と相対的に高い。女性の40歳代以上では『男性優遇』が5割を超えて高くなっており、20歳代、30歳代でも4割台となっている。一方、男性は30歳代以上で「平等」が4割前後と高いが、60歳代と70歳以上では『男性優遇』も4割前後と高い。これらの年齢層は退職後に地域活動に参画する割合が相対的に高いため、体験から『男性優遇』ととらえていると思われる。

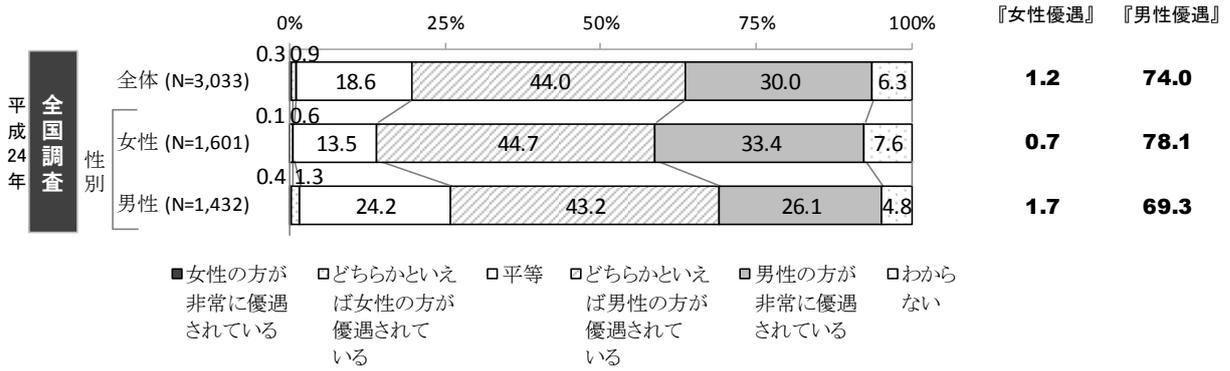
表 「地域活動・社会活動」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196 100.0	11 0.9	80 6.7	372 31.1	410 34.3	145 12.2	144 12.1	33 2.8	91 7.6	555 46.5
年齢別	女性:20歳代	61	-	4.8	25.3	34.9	6.4	21.4	7.2	4.8	41.3
	女性:30歳代	99	1.5	3.4	24.4	35.1	10.7	22.0	2.9	4.9	45.8
	女性:40歳代	140	-	4.8	26.2	39.7	11.7	16.6	1.0	4.8	51.4
	女性:50歳代	133	2.2	2.9	32.6	39.5	13.8	8.0	1.1	5.1	53.3
	女性:60歳代	184	-	4.2	21.8	43.2	17.2	9.2	4.4	4.2	60.4
	女性:70歳以上	124	-	11.6	24.1	32.9	22.5	4.3	4.6	11.6	55.4
	男性:20歳代	30	1.7	14.5	32.2	16.2	21.0	14.4	-	16.2	37.2
	男性:30歳代	54	3.6	6.1	43.8	16.1	8.1	17.0	5.4	9.7	24.2
	男性:40歳代	77	1.8	10.0	41.6	24.2	5.6	14.3	2.5	11.8	29.8
	男性:50歳代	93	2.1	10.8	38.6	32.5	2.6	12.4	1.0	12.9	35.1
	男性:60歳代	125	0.4	6.9	41.6	30.0	9.2	9.2	2.7	7.3	39.2
	男性:70歳以上	71	-	9.5	40.2	35.4	9.5	5.4	-	9.5	44.9
無回答		5	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-	40.0

(オ) 政治の場

図 「政治の場」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)





「政治の場」における『女性優遇』はわずか 2.5%で他の分野と比べると最も低く、「平等」も 9.1%と「社会の慣習・しきたりなど」に次いで2番目に低い割合である。一方、『男性優遇』は77.6%と8割近くを占めており、男性優位が強く認識されている分野である。

性別にみると、「平等」は女性6.0%、男性14.4%と男性の方が8.4ポイント高く、「男性の方が優遇されている」に関しては女性が49.9%、男性が36.0%で女性の方が13.9ポイントと大きく上回っている。

前回調査と比較すると、「平等」が前回調査15.7%から今回調査9.1%と6.6ポイント減少しており、一方『男性優遇』は前回調査69.6%から今回調査77.6%へ8ポイント増加している。男女ともに同様の傾向を示している。「政治の場」における女性の少なさを、男女ともにより深く認識するようになったことがうかがえる。

全国調査と比較すると、「平等」は全国調査18.6%を9.5ポイント下回り、「男性の方が優遇されている」は女性で16.5ポイント、男性で9.9ポイント上回るなど今後の課題が残る分野であるといえる。

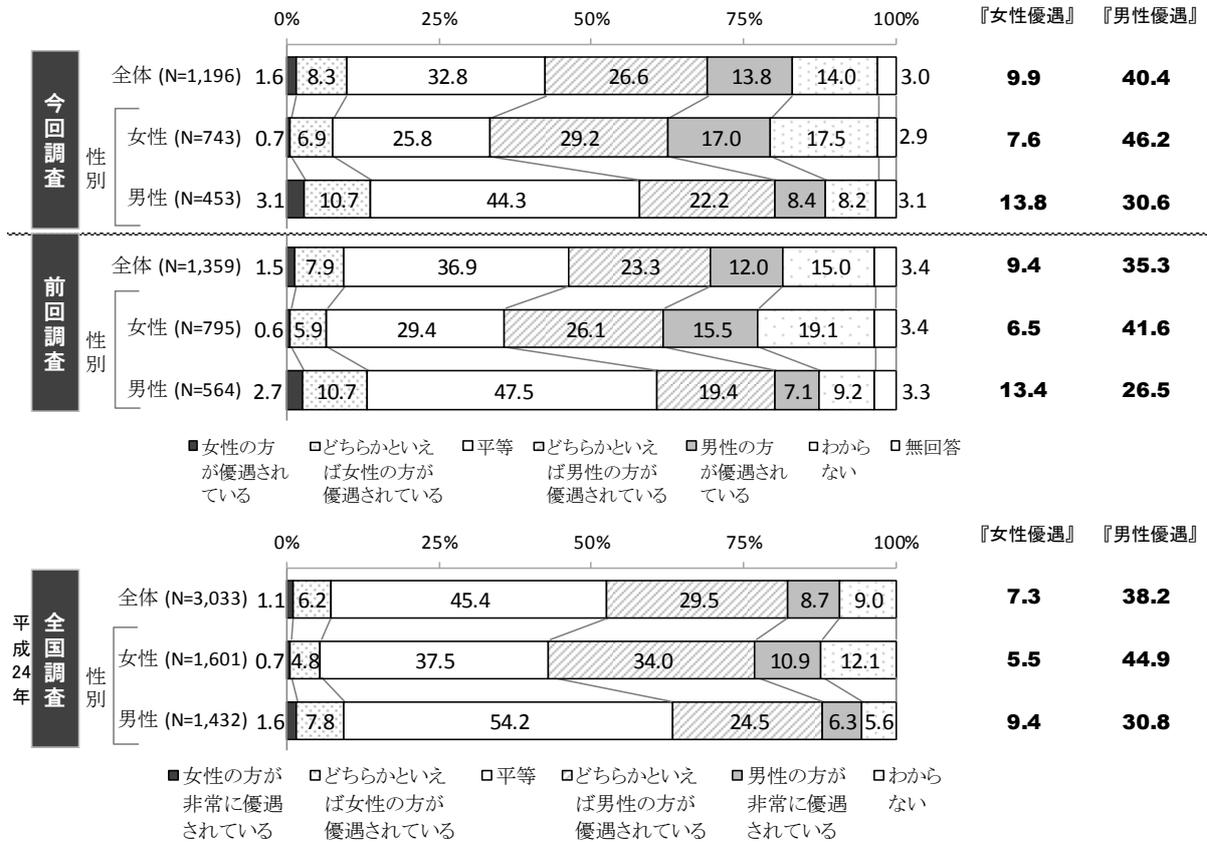
年齢別にみると、「政治の場」では男女ともに『男性優遇』の認識が強いが、年齢が高くなると「男性の方が優遇されている」の割合は減少し、「平等」の割合が比較的高くなる傾向にある。短い期間でみると女性議員の割合は横ばいであるが、長い期間でみると上昇しており、高齢者層の方が状況が変化したと認識しているといえる。

表 「政治の場」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196	5	26	109	395	534	100	27	31	929
		100.0	0.4	2.1	9.1	33.0	44.6	8.4	2.3	2.5	77.6
年齢別	女性:20歳代	61	-	3.1	3.9	26.2	64.4	2.4	-	3.1	90.6
	女性:30歳代	99	-	-	2.0	41.5	44.3	9.3	2.9	-	85.8
	女性:40歳代	140	-	1.0	2.8	27.6	60.0	7.6	1.0	1.0	87.6
	女性:50歳代	133	1.1	-	6.9	34.1	50.7	5.8	1.4	1.1	84.8
	女性:60歳代	184	-	1.0	6.5	28.3	46.6	13.6	3.9	1.0	74.9
	女性:70歳以上	124	-	3.9	12.0	28.7	39.5	12.8	3.1	3.9	68.2
	男性:20歳代	30	-	4.8	13.0	27.4	49.9	4.8	-	4.8	77.3
	男性:30歳代	54	2.7	6.2	13.4	33.1	34.8	4.4	5.4	8.9	67.9
	男性:40歳代	77	1.2	4.4	10.0	34.1	36.1	13.0	1.2	5.6	70.2
	男性:50歳代	93	1.5	3.1	8.7	37.1	39.7	8.8	1.0	4.6	76.8
	男性:60歳代	125	-	1.9	21.5	32.4	37.2	3.1	3.8	1.9	69.6
	男性:70歳以上	71	-	2.7	14.3	53.2	23.7	6.1	-	2.7	76.9
無回答		5	-	-	20.0	20.0	60.0	-	-	-	80.0

## (カ) 法律や制度のうえ

図 「法律や制度のうえ」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「法律や制度のうえ」において、「平等」は32.8%で「学校教育の場」に次いで高い割合となっている。『男性優遇』は40.4%で、「学校教育の場」に次いで2番目に低い。『女性優遇』は9.9%である。

性別にみると、「平等」は男性が44.3%であるのに対し、女性では25.8%で、男性を18.5ポイント下回っている。男性の半数近くが「平等」と思っているのに比べ、女性は平等であるとの認識が低いのが対照的であり、男女の認識の差が大きくあらわれている分野である。

前回調査と比較すると、男女とも「平等」が約3ポイント減少し、『男性優遇』が約4ポイント増加しており、前回調査の時点では女性において認識の改善がややみられたが、今回調査ではまた戻っている。法律や制度の改正が徐々に進められてきているとしても、まだ不十分だと感じていたり、運用面では実感が伴わなかったりする状況があると思われる。

全国調査と比較すると、『男性優遇』は男女ともにほぼ同程度であるが、「平等」が男女ともに今回調査の方が下回り、『女性優遇』も女性で2.1ポイント、男性で4.4ポイント上回るなど久留米市では法律や制度の分野で平等ではないという認識が高いようだ。

年齢別にみると、「法律や制度のうえ」においては、男性では「平等」が70歳代以上では65.3%あり、年齢が上がるにつれ高く、長い期間でみると男女雇用機会均等法をはじめ法や制度の男女平等が進んでいる認識が高くなる傾向がうかがえる。女性では50歳代を除いて「わからない」とする割合が男性に比べて高く、女性自身に影響を与える男女平等の法律への関心が低いのは問題であろう。大学卒の男女雇用機会均等法世代が50歳を迎えようとしている現在、女性の50歳代では

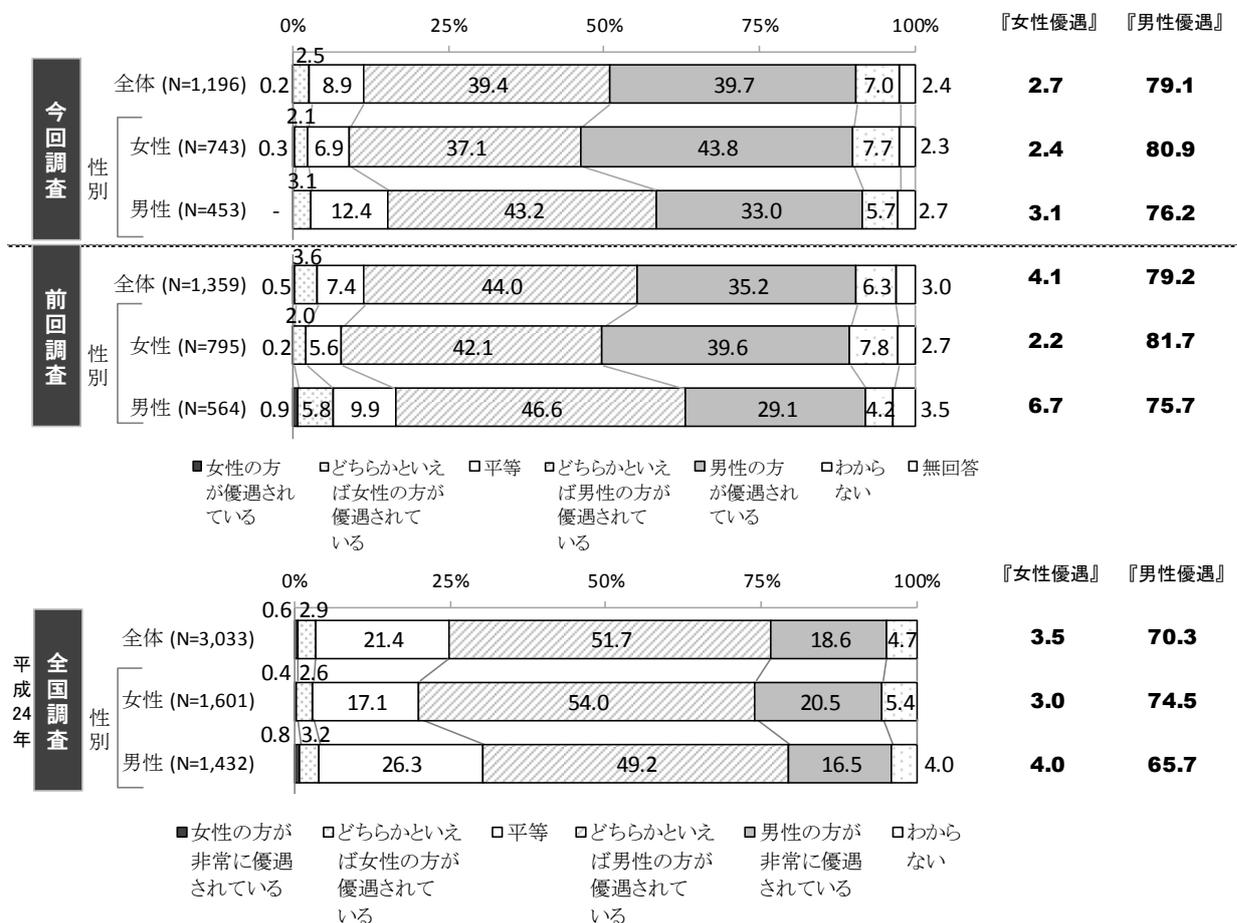
『男性優遇』が 59.8%と他の年代と比べ最も高く、法や制度の実効性での課題を認識している年代ともいえる。

表 「法律や制度のうえ」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196	19	100	392	318	165	167	36	119	483
		100.0	1.6	8.3	32.8	26.6	13.8	14.0	3.0	9.9	40.4
年齢別	女性:20歳代	61	-	8.7	23.7	27.9	19.1	20.6	-	8.7	47.0
	女性:30歳代	99	0.5	7.3	24.4	34.1	13.2	17.6	2.9	7.8	47.3
	女性:40歳代	140	1.8	13.8	19.0	26.2	22.4	14.5	2.4	15.6	48.6
	女性:50歳代	133	1.1	6.5	23.2	41.7	18.1	8.3	1.1	7.6	59.8
	女性:60歳代	184	0.3	3.7	24.9	26.7	15.9	24.9	3.6	4.0	42.6
	女性:70歳以上	124	-	3.1	39.5	20.6	13.9	17.0	5.8	3.1	34.5
	男性:20歳代	30	1.6	27.4	16.1	32.3	11.3	11.3	-	29.0	43.6
	男性:30歳代	54	6.3	17.8	29.4	21.5	4.5	12.5	8.1	24.1	26.0
	男性:40歳代	77	5.6	16.8	39.8	13.7	11.2	8.7	4.3	22.4	24.9
	男性:50歳代	93	2.6	12.9	42.2	26.9	7.7	6.7	1.0	15.5	34.6
	男性:60歳代	125	2.7	1.2	50.5	24.2	10.0	8.4	3.1	3.9	34.2
	男性:70歳以上	71	-	4.8	65.3	19.1	4.1	4.8	2.0	4.8	23.2
	無回答	5	-	20.0	20.0	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0

(キ) 社会の慣習・しきたりなど

図 「社会の慣習・しきたりなど」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「社会の慣習・しきたりなど」においては、「平等」は8.9%と他の分野と比べ最も低く、『男性優遇』は79.1%に上り、男性優遇の傾向が強く意識されている分野である。

性別にみると、「男性の方が優遇されている」では女性の43.8%に対して男性は33.0%と女性の方が10.8ポイント上回っているが、『男性優遇』に関しては、女性は80.9%と8割を占め、男性においても76.2%となっており、男女ともに「社会の慣習・しきたりなど」については男性が優遇されているとの意識が強いことが確認できる。

前回調査と比較しても、男女とも「平等」が前回調査よりもやや増えているが、大きな違いはみられない。

全国調査と比較すると、「平等」は女性で10.2ポイント、男性で13.9ポイント今回調査の方が下回り、『男性優遇』は女性で6.4ポイント、男性で10.5ポイント上回っており、課題を残す分野であることが指摘できる。

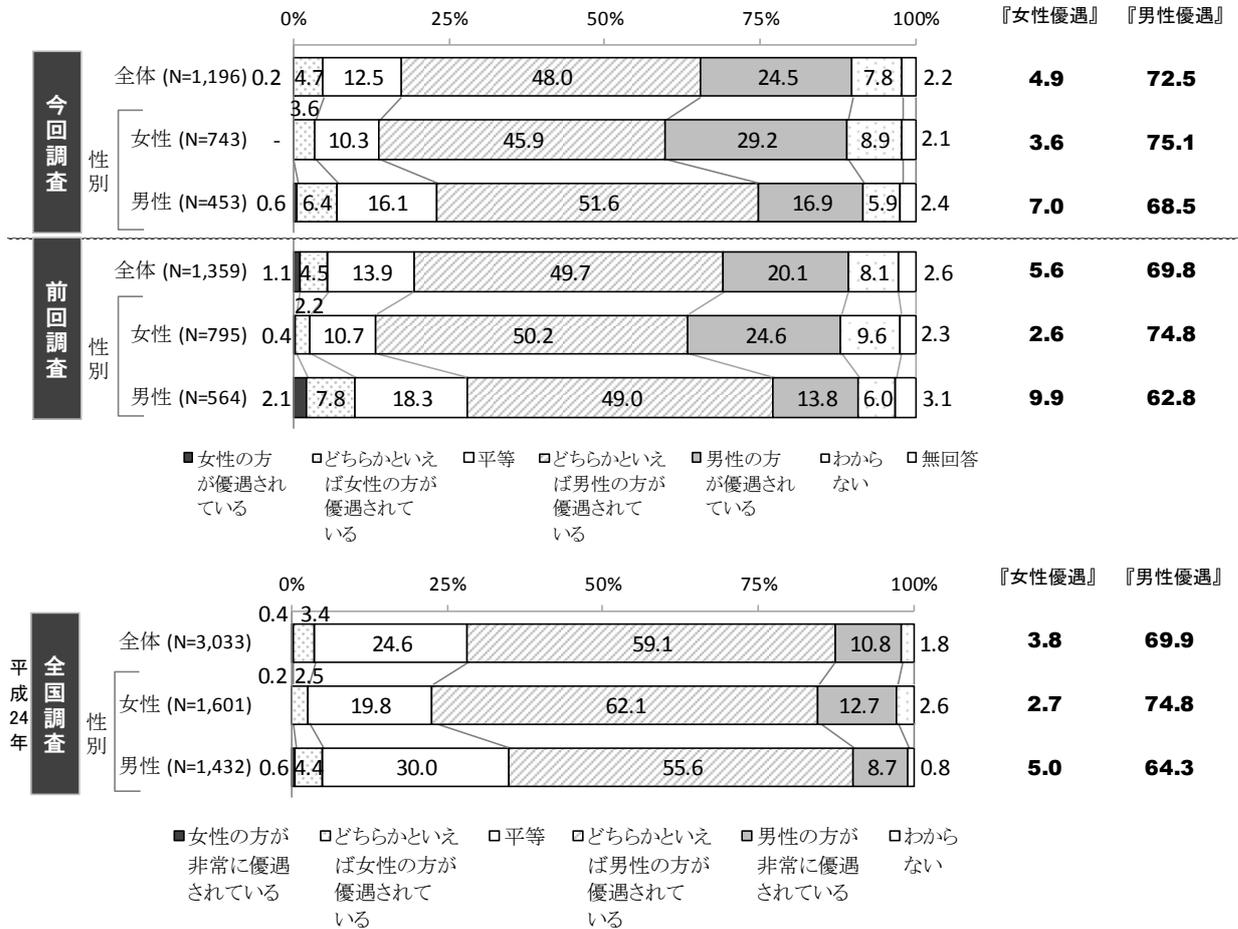
年齢別にみると、「社会の慣習・しきたりなど」では、『男性優遇』は女性の40歳代、50歳代、60歳代で8割を超えて高く、男性でも40歳代で8割を超えている。

表 「社会の慣習・しきたりなど」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

		合計	女性の方が優遇	ほぼ女性の方が優え	平等	ほぼ男性の方が優え	男性の方が優遇	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196 100.0	2 0.2	29 2.5	107 8.9	471 39.4	474 39.7	83 7.0	29 2.4	31 2.7	945 79.1
年齢別	女性:20歳代	61	-	2.4	7.9	25.4	49.4	15.0	-	2.4	74.8
	女性:30歳代	99	-	-	2.5	44.9	33.6	16.1	2.9	-	78.5
	女性:40歳代	140	0.3	2.1	3.1	35.5	50.0	7.9	1.0	2.4	85.5
	女性:50歳代	133	1.1	-	8.3	42.1	44.9	2.5	1.1	1.1	87.0
	女性:60歳代	184	-	2.9	6.3	34.9	47.4	5.7	2.9	2.9	82.3
	女性:70歳以上	124	-	4.6	13.6	37.2	34.9	5.0	4.7	4.6	72.1
	男性:20歳代	30	-	4.8	3.2	45.3	33.8	12.9	-	4.8	79.1
	男性:30歳代	54	-	5.3	13.4	34.8	31.4	9.8	5.4	5.3	66.2
	男性:40歳代	77	-	2.5	6.9	50.9	33.0	4.3	2.5	2.5	83.9
	男性:50歳代	93	-	2.0	12.9	41.7	35.1	5.7	2.6	2.0	76.8
	男性:60歳代	125	-	2.3	15.8	37.3	38.1	3.8	2.7	2.3	75.4
男性:70歳以上	71	-	4.1	13.6	53.8	21.7	4.8	2.0	4.1	75.5	
無回答		5	-	-	20.0	-	60.0	20.0	-	-	60.0

(ク) 社会全体

図 「社会全体」にみる男女の平等感[全体、性別](前回調査・全国調査比較)



「社会全体」においての「平等」は12.5%にとどまり、『男性優遇』は72.5%と7割を超えており、男性が優遇される社会であるととらえられている傾向が強いことがわかる。

性別にみると、「平等」は女性が10.3%、男性が16.1%で、女性の方が5.8ポイント下回っている。『男性優遇』については女性が75.1%、男性も68.5%と高いが、女性の方が6.6ポイント上回る結果となり、女性が不平等感を抱いている現状がうかがえる。「男性の方が優遇されている」(女性29.2%、男性16.9%)では12.3ポイントの差があり、女性が男性の方が優遇されている社会であるとより強く感じている傾向がみられる。

前回調査と比較すると、女性ではあまり大きな変化はみられないが、男性は「平等」が前回調査18.3%から今回調査16.1%へと2.2ポイント減少し、『男性優遇』は62.8%から5.7ポイント増加しており、男性において不平等感が前回よりも強くなっている。

全国調査と比較すると、「平等」は今回調査が12.5%で、全国調査の24.6%を12.1ポイント下回る結果となっている。社会全体での男女の平等感は久留米市の方が低いという結果である。

年齢別にみると、50歳代の女性は「平等」が最も低く、『男性優遇』は最も高く、性別役割分担意識に反対する割合が最も高かったことから、現状に対して厳しい見方をしている年代であることがうかがえる。

表 「社会全体」にみる男女の平等感[全体、年齢別]

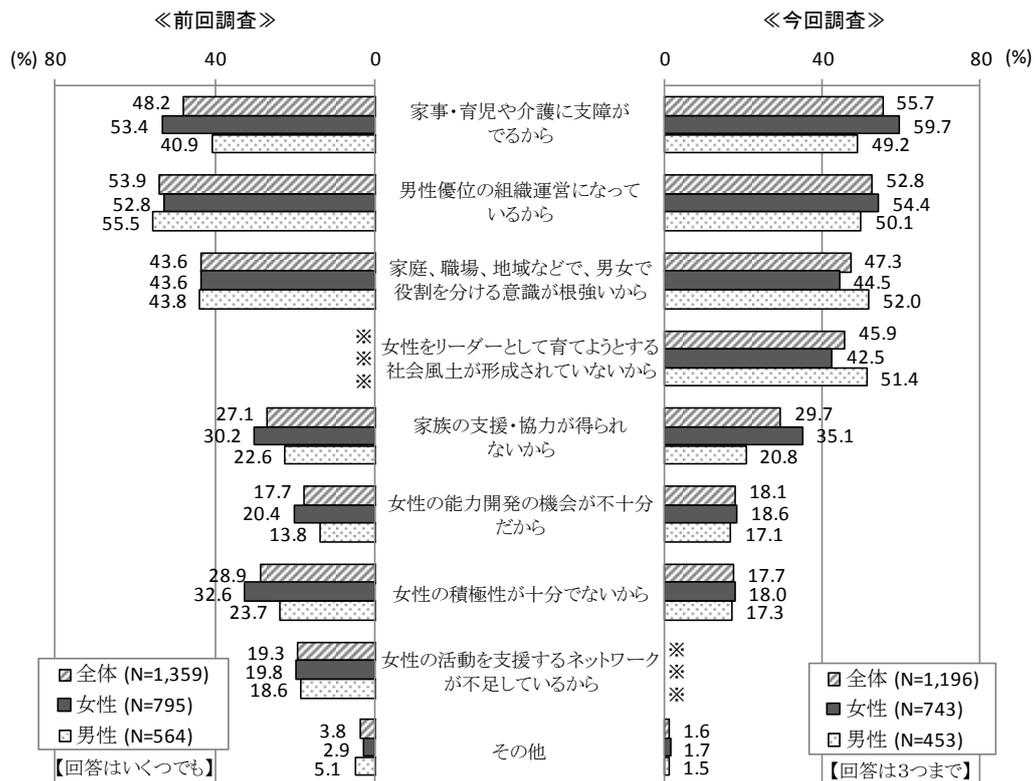
(%)

		合計	女性の方が優遇	男女どちらかともいえない	平等	男性の方が優遇	どちらかともいえない	男性の方が優遇	わからない	無回答	『女性優遇』	『男性優遇』
全体		1,196 100.0	3 0.2	56 4.7	149 12.5	575 48.0	293 24.5	93 7.8	26 2.2		59 4.9	868 72.5
年齢別	女性:20歳代	61	-	3.1	11.0	46.8	34.3	4.8	-		3.1	81.1
	女性:30歳代	99	-	2.9	7.4	45.3	26.3	16.7	1.5		2.9	71.6
	女性:40歳代	140	-	4.1	8.3	49.0	29.6	7.9	1.0		4.1	78.6
	女性:50歳代	133	-	2.9	7.2	53.3	29.3	6.5	0.7		2.9	82.6
	女性:60歳代	184	-	1.8	10.0	47.2	29.0	8.6	3.4		1.8	76.2
	女性:70歳以上	124	-	7.4	18.6	32.2	28.3	9.3	4.3		7.4	60.5
	男性:20歳代	30	1.6	24.2	4.9	41.9	22.6	4.8	-		25.8	64.5
	男性:30歳代	54	-	8.0	10.7	58.0	14.4	3.6	5.4		8.0	72.4
	男性:40歳代	77	0.6	9.3	8.1	47.9	16.8	14.9	2.5		9.9	64.7
	男性:50歳代	93	-	6.2	24.2	48.4	16.0	3.6	1.6		6.2	64.4
	男性:60歳代	125	1.2	1.2	18.1	52.7	19.6	4.6	2.7		2.4	72.3
	男性:70歳以上	71	0.7	4.1	18.4	58.5	12.3	4.1	2.0		4.8	70.8
無回答		5	-	-	20.0	40.0	40.0	-	-		-	80.0

### 3. 政策・方針決定過程への女性の進出について

問3. 政治、行政、企業、地域などにおいて、政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由は何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

図 政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由[全体、性別] (前回調査・全国調査比較)



※前回または今回調査ではなかった項目

政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由として、「家事・育児や介護に支障がでるから」(55.7%)と「男性優位の組織運営になっているから」(52.8%)が5割を超えて上位にあげられている。次いで、「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから」(47.3%)、「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」(45.9%)が4割を超えている。以下「家族の支援・協力が得られないから」(29.7%)、「女性の能力開発の機会が不十分だから」(18.1%)、「女性の積極性が十分でないから」(17.7%)と続く。

性別にみると、女性は「家事・育児や介護に支障がでるから」で10.5ポイント、「家族の支援・協力が得られないから」で14.3ポイント男性を上回り、男性では「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから」が7.5ポイント、「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」が8.9ポイント女性を上回っている。女性においては家族との関係、男性においては慣習の根強さを理由としている傾向がみられる。

前回調査では、いくつでも選択していたが、今回は3つまでの選択に変更になっており、「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」が新たに追加されている。

前回調査と比較すると、「家事・育児や介護に支障がでるから」は48.2%から7.5ポイント増加しており、女性でも6.3ポイント、男性でも8.3ポイント増加している。また、女性で「家族の支援・協力が得られないから」が4.9ポイント増加している。前回と比べ家事・育児や介護等の家庭的役割を主に女性が担っている現状と家族の支援と協力が無い現状が女性の進出に歯止めをかけているようである。

一方、「女性の積極性が十分でないから」は28.9%から11.2ポイント減少し、女性では14.6ポイント、男性では6.4ポイント減少するなど男女ともに女性の積極性のなさに帰属する傾向は弱まっている。

年齢別にみると、男女とも20歳代で「男性優位の組織運営になっているから」「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」が5割を超えて高く、未婚者の割合の高い若い年齢層では、家族の協力よりも男性優位の環境が課題と認識されている。また、「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」は50歳代以上の男性では5割を超えているが、女性は4割程度で、組織のリーダー世代を経た年齢の高い層では男性の方が女性リーダー養成について環境の課題を認識している。「家族の支援・協力が得られないから」は女性の30歳代と40歳代で4割前後と他の年齢に比べて高く、男性のこの年代は2割以下で、子育て世代の妻と夫の立場で認識のずれがうかがえる。

表 政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由[全体、年齢別]

		合計	男性優位の組織運営に	家庭・職場を分ける	女性をリーダーとする社会風土が形成されていない	家族の支援・協力が得られないから	家事・育児や介護に支障がでるから	女性の能力開発の機会が不十分だから	女性の積極性が十分でないから	その他	無回答
全体		1,196 100.0	631 52.8	566 47.3	548 45.9	355 29.7	666 55.7	216 18.1	212 17.7	19 1.6	38 3.1
年齢別	女性:20歳代	61	65.8	37.3	51.5	33.3	53.2	11.2	12.7	2.4	2.4
	女性:30歳代	99	58.5	34.6	47.3	42.4	57.1	16.1	13.2	3.4	1.5
	女性:40歳代	140	53.8	40.6	44.5	39.6	62.1	15.9	14.8	4.2	1.0
	女性:50歳代	133	53.6	51.4	38.8	38.1	68.1	13.8	18.8	-	0.7
	女性:60歳代	184	56.1	48.2	39.6	33.5	58.9	23.9	15.7	0.3	3.4
	女性:70歳以上	124	44.2	47.7	40.7	24.0	55.8	24.5	31.0	1.1	5.4
	男性:20歳代	30	58.1	43.6	50.0	16.2	51.6	17.8	14.5	4.8	4.8
	男性:30歳代	54	45.5	41.9	40.1	16.1	46.4	16.1	13.4	2.7	8.1
	男性:40歳代	77	49.1	59.2	35.4	19.2	55.2	9.3	16.7	1.9	1.8
	男性:50歳代	93	51.6	47.9	52.6	30.4	46.9	13.9	20.1	1.5	1.0
男性:60歳代	125	49.6	53.9	55.7	20.4	46.6	21.5	20.0	0.4	6.9	
男性:70歳以上	71	49.0	57.1	67.4	16.3	52.4	23.1	12.9	0.7	2.0	
無回答		5	80.0	40.0	60.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0